

一日入学あいさつ

本日は、お忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。

細江小学校では、先週ぐらいから、インフルエンザにかかってしまうお子さんが増えています。

そこで、新一年生のみなさんは楽しみにしていたと思いますが、新一年生と１年生の交流については、本日は行わないことにさせていただきました。

申し訳ありませんでした。

私は、時々、授業の様子を見に学校の中を歩くときがあります。授業のじゃまをしちゃいけないと思うので、そっと歩いているんです。

でも、私は、きゃしゃで、小柄なので（笑）、すぐに子供たちにみつかってしまいます。

そうすると、子どもたちは、授業中なのに、廊下にいる私に手をふってくれるんです。

ああ、授業のじゃまをしちゃった…と思いながらも、せっかくなので、手を振り返すんです。そんな様子を授業をしている先生たちもにこにこ見られています。

別に、私が人気者の校長だなんて言いたんじゃないですよ。細江小の子どもたちは、大人を「見張る人」「監視する人」とは思っていないんです。

細江小の子は、私たち教職員を含めた、大人のことを「自分たちのよさを見つけてくれる人」って、ポジティブにとらえてくれているんです。

なんで、細江の子が、そう思えるかというと、日々一緒に授業をしたり、生活をしたりしている担任の先生や授業の先生が、子どもたちのスマイルハートなところを、たくさん見つけて、価値づけてくれているからです。

4月から、お子さんが、新しく小学校に入学するということで、心配なことがいっぱいあるかもしれません。

でも、細江小は、子どもたちと教職員が、よい意味で「ともだち」「なかま」なんです。

ぜひ、お子さんに「細江小はスマイルハートなすてきな学校だよ」と伝えてあげてください。